



日本聖公会
大阪教区教務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
教務局長 司祭 原田光雄

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第449号 2016年6月26日発行

わたしたちは、霊の導きに
従って生きているなら、霊の
導きに従ってまた前進しまし
よう。

5・25)

(ガラテヤの信徒への手紙

「霊の導きに従ってまた前
進しましょう。」エッ?どう
やって?どやって、前進する
ことができますか?それに



聖霊による信仰生活

司祭 ウイルソンウオーレン

「前進」とはなんですか?

わたしたちはクリスチャン
になった時、イエス様を信じ
ることによって「神の子」に
なりました。何か、良いこと
をして、それによって神様に
認められて、神の子となった
のではありません。神様の愛、
そして、イエス様の十字架で
の死によって神の子になった

のです。すべては、神様側か
らのみ業でした。

「神の子」になってからど
うなるのでしょうか。どうな
るべきなのでしょう。わた

したちはクリスチャンになっ
た時、神様にありのまま受
け入れられました。その時
から神様のご計画による、神
様が望んでおられる本当の自
分に成長していくべきです。

者とされる前進です。

ただし、口先だけで簡単に
できることではありません。

わたしたち、人間として、「前
進しよう」としても、ほとん
ど、自分の力・才能を尽くし
て前進しなければならぬと
思いがちなのです。

しかし、この様にすると、
逆に、本当の前進ができなく
なります。自分の知恵・力・

(Ⅱコリント書3:18)「わた

したちは皆、顔の覆いを除か
れて、鏡のように主の栄光を
映し出しながら、栄光から栄

光へと、主と同じ姿に造りか
えられていきます。これは主
の霊の働きによることです。」

これこそが、われわれのす
べき「前進」でしょう。霊の
導きに従って成長し、聖なる

努力によって成長し、聖なる
者となる訳はありません。聖
霊様のお働きによらなければ
できません。

これが聖霊降臨の一つの大
きな意味です。イエス様がわ
たしたちのこの世から昇天な
されたのは、「自分の「聖霊」
を送って下さるためでした。

「...わたしが去って行くの

は、あなたがたのためになる。
:わたしが行けば、弁護者を
あなたがたのところへ送る。」
(ヨハネによる福音書16:7)。
聖霊降臨があったからわた
したちクリスチャンは神様の
聖霊をいただいて、その霊の
導きに従ってまた前進するこ
とができます。自分だけの力
ではできません。

本当に良かったです。聖霊
に頼って、自分の知恵と力で
できない信仰生活ができるよ
うになります。神様の知恵と
力によって礼拝・伝道・宣教
ができるようになります。で
すから聖霊の導きに従って、
安心して、喜びを持って神様
の礼拝をしましょう。聖霊の
導きに従って、神様のよい訪
れを告げ知らせ分かち合いま
しょう。聖霊の導きに従って、
隣人を愛し、社会の中での活
動・奉仕をしましょう。聖霊
の導きに従って、「主とともに
行きましょう」ハレルヤ!
(芦屋聖マルコ教会牧師)

九州地震被災者支援速報

2016年6月現在、九州地震の被災地情報が武藤謙一・九州教区主教経由で発信されている。以下の通信は「教務局だより」に掲載済みの文章であるが、被災者の現状を把握するためにも非常に重要であり、大阪教区報からも発信させていただく。



「少しずつですが信徒だけでなく地域の被災者との関係ができてつつあり、仕事の依頼もありです。屋内外の家財道具や不用品、がれきの片付



け、分別、集積所への運搬が活動の一つです。昨日も屋外での作業でしたが、気温も高くなりハードだったようです。もう一つの働きは配食(おかず)です。昨日も10食ほど提供しました。昨日は佐賀聖ルカ伝道所の婦人がボランティアに来てくださいました。夕食のおかずを作り、それをもって益城町の被災者に配りながらお話を聞きました。もうしばらくはこの活動も続けていきたいと考えています。九州教区のスタッフ(責任者)



が3人で交代に入るという状況の中で、5月は神戸教区の瀬山会治司祭、中村香さんが長期にわたってボランティアとしていてくださり本当に助かりました。もし少し長期で入ってくださる方がおられればありがたいです。ボランティアの受け入れについては、教区内、近隣教区だけでなく東京教区からも来てくださっています。全体的には人数が不足気味です。もうすぐ第4信を出すよう準備しており、そこでも呼び掛けま

が、ボランティアの参加を呼び掛けていただければ幸いです。」

上記のような被災地の現状を踏まえ、大阪教区は仮称ではあるが「九州地震被災者支援対策室」を教区主教のもと設置し、被災者支援に向けて迅速かつ適切な対応を可能としている。担当者は長として原田光雄司祭、そして奥村貴充司祭と古澤秀利司祭である。この対策室を通してボランティア登録の情報等も発信して

いる。なお、登録に関しては別項目(12頁)を参照していただきたい。さて、九州への支援金は第

一次献金として500万円を計上している。教区教会からの信施は計710,929円が献げられており、その金額に教区「緊急災害支援資金」から加えて先行支援分として200万円が送金された。残り300万円は各教会から募り、現在、全22教会の申し込み(目標)額合計は367万円となっている。(編集部)



大阪教区 礼拝・音楽委員会 & 京都教区 礼拝部 協働による

ともに祈る 2016 聖餐式

～美しき地と輝く空と～

日時：8月11日(木/休) 14:00～

場所：大阪教区主教座聖堂 川口基督教会

司式：セオドラ 池本則子司祭(京都教区)

説教：ペテロ 岩城 聰司祭(大阪教区)

主催：大阪教区宣教部 礼拝・音楽委員会
京都教区宣教局 礼拝部

お問い合わせ：堺聖テモテ教会 TEL. 072-261-2015

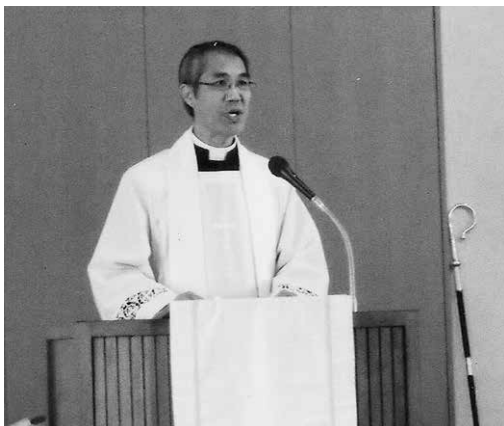
昇天日礼拝と教区婦人会総会

東豊中聖ミカエル教会に194人が集う

ベタニヤのマリア 瓶子 佐枝子

5月5日(木)汗ばむほどの晴天の日、大阪教区婦人会は東豊中聖ミカエル教会にて昇天日礼拝を守りました。司式は磯晴久主教、説教は義平雅夫司祭が執り行って下さいました。義平司祭は、イエスの昇天の意義について次のように力強くお話し下さいました。「弟子たちは天に上げられ

るイエスを見上げながら大きな喪失感を味わっていたことと思います。しかし天に見送った悲しみの後に、彼らの本当のこれからの人生が始まります。イエスはもう一度やってくる約束して下さいました。私達の人生も、もう一度イエスと出会う日に向かって始まったのです。命の代償を払ってでも救い出して下さった方に向かって新たな人生を一日一日、一步一步歩んでいくことに尊い意味が生まれるのです」。



義平雅夫司祭がメッセージ

昼食をはさみ午後からは、教区婦人会の第92回総会が開かれました。終始和やかな中にも真剣な意見交換が持たれ、感謝箱献金を今までの65%を改め、全額を日本聖公会婦人会へ送金する件や、特別会計より30万円を熊本地震被災者へ九州教区

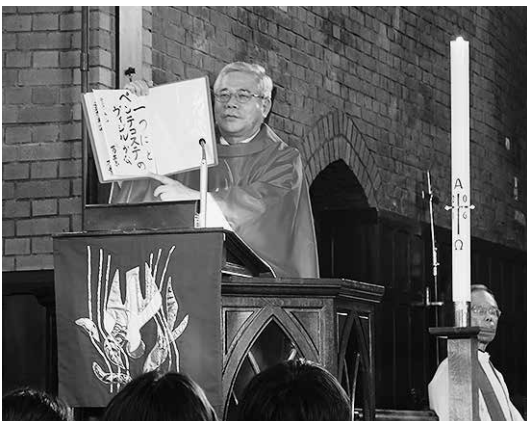
を通して送金する件などが可決されました。

総会後も聖ミカエル教会と近隣教会の皆さんの手作りのお菓子をいただきながら親睦のひと時を持つこともでき、恵まれた一日でした。

第10回 ペンテコステ・ヴィジル 川口基督教会で超教派の祈り

クリスチーナ 下地 道子

5月14日(土)午後5時から川口基督教会において「第10回聖霊降臨日 前夕の礼拝(ペンテコステ・ヴィジル)」が、聖霊降臨



説教壇に立たれた前田万葉大司教

日前夕の礼拝実行委員会主催、大阪基督連合会後援により行われました。カトリック教会、日本基督教団、日本聖公会のエキクメニカルな活動の中から2006年に始まったこの礼拝に、第5回からは日本福音ルーテル教会も加わり、第10回を迎えた今回は130

人を超えるいろいろな教派の方々が会衆として集い、共に祈りすることができました。

当日の出席者は194人、信施金209,720円は東北地震と九州地震の被災地へ半額ずつ送金されました。(へいし さえこ・守口復活 教会信徒)

聖霊降臨日は教会の誕生日でもあり、教会一致のシンボルにふさわしい日です。その前夕に教派を超えて集まり、「神の民の一致」を祈り求める大切さを、強く感じました。礼拝はオルガンの前奏に続き、関西学院聖歌隊24人の若々しい歌声が始まりました。前田万葉大司教(カトリック大阪大司教区)が、お説教の中で示された「御子 天にのぼり 聖霊降臨す」のお言葉に、この日がキリスト者としてとても喜ばしい日であることを実感し、わずかな数のキリスト者でも心を通い合わせることができるよう、祈りました。

また、今年で5年が経った「東日本大震災」により被災された人々のために、4月に起こった熊本地震で被災された人々のために、教派を超えて共に祈りできたことは、大変意義深いことでした。集められた信施金73,197円は、九州地震の被災者のため、日本聖公会管区事務所を通して献げられました。(しもじ みちこ・川口基督 教会信徒)

2016年「信徒の学び」出張講座
神とともに歩む一年間 ～教会暦と聖歌～

ヴェロニカ 薦田 久美子

5月29日(日) 13時30分から大阪聖パウロ教会で、大阪教区の宣教部、礼拝・音楽委員会主催の「信徒の学び」出張講座が催されました。

り、神と出会い、救いの歴史に触れるために、聖公会では教会暦をととも大切にしている」という内田望司祭の説明がありました。

まず祈禱書を確認しながら、教会暦について「教会の暦をたどることによって、イエスさまのご生涯の歩みの中に入

また、祈禱書の第一ページには「教会暦は祝日と斎日から成っている」と書かれており、祝日はイエスさまのご生涯の喜びを、斎日は悲しみを記念する日だそうです。もつと礼拝の意味を考え、もつとイエスさまの歩まれた道と想いに心を向けなければ、と思

祭色や期節についても説明がありました。特に、降臨節が主のご降誕だけではなく、再臨をも記念していると知って驚きました。

そして、内田司祭の説明箇所合った聖歌を幾つか選んで、辻彩乃さんが分かりやすく解説して下さい、何曲かを歌いました。説明、聖歌、どちらか一方に偏るのではなく、

絡ませた進行は、とても良いアイデアだと思いました。

第131回 会 男子 連
「祈りと証しの会」
 齊藤壹司祭が
 退職までの道のりを語る
 ペテロ 鈴木 憲二



最後の予定は、第2回・6月26日(日) 大阪聖アンデレ教会、第3回(最終回)・7月24日(日) 芦屋聖マルコ教会、両日とも13時30分開始です。是非ご参加ください。

(こもだ くみこ・大阪聖パウロ教会信徒)

第131回祈りと証しの会は4月28日(木)午後7時より大阪聖愛教会にて開催された。今回は夕の礼拝形式で、司式・豊川雅章兄、奏楽・高島美智姉により行われた。証し人は今年3月に定年退職された齊藤壹司祭である。師は芦屋聖マルコ教会で高校生の時に洗礼を受けられ、司祭に至るまでその教会の人々が多くの深い愛情をそそいで育ててくださったと話された。生まれた時は仮死状態で泣かず、産婆さんが足を持って上にあげ、体を叩いて意識を回復さ

せたということである。今でも助産師さんを見ると頭の下がる想いはこのようなどころから来ている。

大阪の古い漫才師でダイヤル・ラケットをご存じだろうか？年配の方なら皆さんご存じだと思う。その漫才のネタで「悪いことがあってなあ」

「そらあかなんだなあ」「それがよかつたんや」「そらよかつたなあ」「それが悪かつたんや」と続く話を引き合いに出され齊藤司祭の人生もそのものであったと続けられた。

大学を出て大手企業に就職したが上司と意見が合わず結果的に会社を辞め、暫くの時を経て神学院に学び、聖職への道に進まれた。このような上司に出会ったことが聖職への道につながる神さまの不思議な業である。

最初の赴任先は聖贖主教会であった。同じ敷地にある博愛社では一番愛されるはずの子どもたちが指導員によって虐待を受けていたことがあった。なんとか解決したく動いたが実らなかつた。それが結果的に社会問題となりやっと理事会が腰を上げるに至って、道が開けた経緯がある。

東豊中聖ミカエル教会、桃山学院チャプレン、大阪城南教会、聖ガブリエル教会、大阪聖愛教会の44年間は「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共

(次頁最下段につづく)

シリーズ 聖公会関連施設紹介 ― ⑩



こひつじ乳児保育園

園長 早川 育子

こひつじ乳児保育園は、1992年4月に聖ガブリエル教会、聖公会生野センターと同じ敷地内で三者協働の歩みを始めました。

「キリスト教精神に基づいた、健全な子どもの成長」「国

際性豊かな地域で一人ひとりを大切に」「家庭的な雰囲気の中で伸び伸びとした保育」の3つを目標に保育をしています。

当初から行われていた毎週火曜日の子ども礼拝では、牧



園児たちと賛美する齊藤壺司祭

師先生(当園ではチャプレンのことをそう呼んでいます)のギターに合わせ、子どもたちがお祈りの歌をうたったり、お祈りをしています。礼拝後、時々チャプレンと一緒に散歩や公園に出かけてくださり、子どもたちはとても喜んでいきます。遊びの中でギターを弾く真似をしてお祈りの歌が出てくるなど、自然に子どもたちにも伝わっているようです。また、食事の前にはお祈りしてから食べるということが習慣となっており、「外食先

(前頁よりつづく)
に働くということ、わたしたちは知っています。(ローマの信徒への手紙8:28)」に示されるように神さまの働きが、いつも私たちに注がれていると結ばれた。
なお、信施金32,962円は「円ブリスト基金」のために献げられた。
(すぎき けんじ・大阪教区連合男子会会長、尼崎聖ステパノ教会信徒)

防災・減災、命を守るために



それは数分後かもしれないし、

数年後、数十年後かもしれない。確かなのは、日本中、巨大地震はどこでも起こりうるということ。去る5月19日神戸教区社会部の招きを受けて、「防災学習会」に参加してきました。これは近い将来に起こることが

予測される「東南海大震災」への対応を、まず神戸教区の教役者を中心に学ぼうと企画され、大阪教区や京都教区の教役者にも呼びかけがあったわけです。まずハット神戸の「人と未来」防災センターで、「阪神・淡路大震災」を追体験し(心が震えました)、午後、神戸聖ミカエル教会で神戸国際大学の天津俊雄先生を

講師に、「死者を出さないために」を中心テーマに講演とワークショップが実施されました。詳しいことは申し上げるスペースがありませんが、「津波は逃げる」、しかしその前に必ず巨大地震が起こるわけで、発生までに何を準備し、発生時に何をしなければならぬかを学ばせて頂きました。耐震性の確保が、準備としては第一のことだと聞き、大阪教区でも、教区とし

て、また各教会で協議しないといけないと感じました。各区市町村にはハザードマップや減災ガイドが用意されていますので、まず手に入れてください。東日本大震災、九州熊本地震、世界各地の大地震の被災者支援も憶えつつ、家庭で教会で巨大地震への備えを始めましょう。
(主教 アンデレ磯 晴久)

で、こひつじの子どもがお祈りをして食べている姿を見かけた」と信者さんがうれしそうに教えてくださいました。
保育では、一人ひとりの生活リズムを大切に、決まった保育士が生活面を援助する「乳児育児担当保育」を導入しました。生活面はもちろん、細かな変化にも気付くことができ、子どもたちの気持ちを受け止めて言葉がけすることを心がけています。子どもたちが自分を大切に、周りの人たちも大切にできる気持ちを持つてくれればと願っています。
(はやかわ いくこ)



大阪教区婦人会

淡路島・鳴門方面へ親睦旅行
神戸教区で新しい出会いに恵まれる

エリザベツ 山村 小夜子

去る5月26日(木)、私は大阪教区婦人会日帰り親睦旅行に参加いたしました。当日はお天気が心配されましたが、曇り空でも比較的凌ぎやすく恵まれた一日となりました。

行き先は、淡路島・鳴門方面で、磯晴久主教様をはじめ、15教会から約90人の参加者でした。バス2台で新大阪駅を

出発し、明石海峡大橋を渡り、あつという間に淡路島に到着しました。はじめに、広大なお花畑「あわじ花さじき」を散策しました。ポピーや金魚草など、愛らしい花が一面い

っぱいに敷きつめられ、心の安らぎを得ました。その後、バスは徳島県の鳴門海峡へと向かい、車中では各教会

の自慢や、主日の美味しい昼食を紹介し合い、他教会への興味がわき、より親近感を持つことができました。お楽しみの今回の昼食は「鳴門海月」で、鯛料理など豪華なご馳走にとても満悦でした。鳴門では強風に耐えながら、有名な渦潮を見て、温泉を楽しみ、ゆつくりとした一時を過ごしました。

それから淡路島を後にして、明石聖マリア・マ

グダレン教会を訪れました。そこは昔の松陰女学校を移築したもので、幼稚園も隣接されており、趣のある礼拝堂が印象的でした。夕べの礼拝は司式を内田望司祭様にして頂き、神戸教区の由緒ある教会の由来など原田佳城司祭様からお話をお聞きしました。神戸教区の皆様との新しい出会いと豊かな交流を持つことができ、信施金83,813円を同教会にお献げいたしました。

最後に、この充実した旅行を企画、お世話頂きました教会区役員の方々に心から感謝いたします。そして今後の大阪教区婦人会の発展をお祈り申し上げます。(やまむら さよこ・川口基督教教会 信徒)

日本聖公会 GFS

新会長に

ルツ 岡墻歩美さんが就任



新会長からのメッセージ

去る2月11日、日本聖公会GFS総会においてGFS本部が沖繩教区から大阪教区へ移ると共に、会長に就任いたしました。会長の職務を担うにはまだまだ知識や経験も不

足していますが、この100周年という記念の年にこの重責を与えられたことをしっかりと心に留め、皆さまの力と皆さまのお支えを頂きながら、GFS 100年の歩みを止めることなく前に進んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りいたします。(おかがき あゆみ・大阪聖三一教会信徒)

日本聖公会 GFS
100周年記念礼拝
のご案内

日時：2016年8月1日(月) 午後1時30分～3時
場所：聖アグネス教会 (京都教区主教座聖堂)
司式：アンデレ 磯 晴久 主教 (大阪教区主教)
説教：マリア・グレイス 笹森 田鶴 司祭 (東京教区司祭)

日本聖公会 GFS は活動が始まって今年で100年目を迎えます。これを記念してGFS 発祥の地、京都で上記のように記念礼拝をおこないます。

先人たちのたゆまない努力を心に留め、新たな気持ちで前に踏み出す勇気と希望を備えて下さるようお祈りいたします。今までもこれからもGFSを見守って下さいます皆さま、共に礼拝の時をもって頂ければと願っています。



2016夏 J's キャンプ

テーマ: ○○との出会い

【主題聖句】

イエスが神殿の境内で学者たちの真ん中に座り、話を聞いたり質問したりしておられるのを見つけた。

(ルカ 2:46)

日程: 2016年 **8月8日(月) ~11日(木)**
/ **12日(金)**
(※12日は高校生のみ可)

場所: **サン大淀キャンプ場** (三重県明和町)

参加費: 15,000 円

問い合わせ: 大阪聖愛教会(金山将司 聖職候補生)まで
06-6771-4123

主催: 日本聖公会 京都教区 宣教局教育部 J's 部門
共催: 日本聖公会 大阪教区 宣教部生涯学習委員会

広島平和礼拝 2016

2016年 8月5日(金)~6日(土)

【テーマ】

ともに学び、行動し、祈ろう。そして一歩前へ。

【聖句】

わたしにつながっていないさい。わたしもあなたがたにつながっている。ぶどうの枝が、木につながっていないければ、自分では実を結ぶことができないように、あなたがたも、わたしにつながっていないければ、実を結ぶことができない。(ヨハネによる福音書 15:4)

広島平和礼拝の目的

1. 原爆犠牲者を追悼し、世界平和のために祈る。
2. 次代を担う人たちに原爆の悲惨さ、戦争の愚かさを伝える。
3. 「主の平和」を学び、その実現のために行動する。

申込締切: 2016年 7月5日(火)

申込先: 申込用紙にご記入の上、大阪教区事務所にお送りください。

被爆 71 年 長崎原爆記念礼拝

2016年8月9日(火) 10:30~

日本聖公会 長崎聖三一教会

テーマ: 死の同心円から平和の同心へ



台湾聖公会

李鎮丞司祭の紹介

川口基督教会牧師 ペテロ 岩城 聰

台湾聖公会、正確には米国聖公会第8管区台湾教区の若手司祭である李鎮丞司祭が、4月19日から7月15日まで約3カ月間、大阪教区に滞在し、交流と学びを深めておられます。

李司祭は、台南神学院を卒業後、香港の明華神学院で学ばれ、台湾のいくつかの教会で牧師を務められ、現在は、台南市にある天恩堂(グレース・チャーチ)の牧師をしておられます。帰国後は、台北の士林にある牧愛堂(Good Shepherd)の牧師に転任されます。牧愛堂は世界でも有名な夜市が催される地区から遠くないところにあり、礼拝堂は中国式の建築になっています。

担う聖職です。お連れ合いのシンデイさんとの間に男の子さんと女の子さんが一人ずつおられます。大阪教区ではほとんどすべての教会を、何らかの形で訪問する予定です。主日礼拝でお会いすることもあると思います。その時は、私たちの家族として歓迎してください。

ます。日本の奈良基督教会のよ
うな感じ
です。
李鎮丞司祭は
40歳。これから
の台湾聖公会を

アメリカの新進気鋭のオルガニスト

ジャネット・イェー

パイプオルガン リサイタル



日時: 2016年 7月2日(土)
午後2時 (午後1時30分開場)

会場: 川口基督教会
(大阪教区主教座聖堂)

演奏曲目:

J.ブラームス 前奏曲とフーガ ト短調

W.A. モーツァルト ファンタジー ヘ短調 K608 他

入場無料

「愛の奉仕」による人々の必要に
「5指標」④

愛の奉仕によって人々の必要に
応答すること

エステル 畑野 希美



「愛の奉仕」という言葉の響きは、極めて高尚で、常人には成し得ない行為であるように感じます。私は現在、多忙な夫の妻であり、わがまま盛りの娘（2歳）のママであり、体内には新しい命も授かっています。慈善事業に従事しているわけではなく、ボランティアに精を出しているわけでもない。それなりに忙しい日々を送っていますが、「愛の奉仕」はおろか、世の中の恵まれない人々の必要に直接応答していません。したがって表題のような内容は、まさに現在の私の日常生活からかけ離れている行為のように感じます。しかし主は、そのような常人に成し得ない

レベルのことを希望されているのでしょうか。そうではないと思います。地味な行いであっても、その時その時、一杯の祈りをもって捧げる行為は、「愛の奉仕」に成り得るのではないのでしょうか。そういう思いで、現在の私にできることを3つ考えてみました。「①家族みんなが心も体も健康で、主に感謝しつつ気持ちの良い毎日を送れるようにサポートすること。②教会で出会う兄弟姉妹と共に祈り主を賛美すること。③遠く離れた場所で苦難に遭っている方々を覚えて祈ること」です。これらを実践するには、最終的な目標が大切であると思います。「あなたがたは世の光である。（中略）あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。（マタイ

5:14、16）」。奉仕の結果、自分に栄光を帰すのではなく、主に栄光を帰すこと、そこが揺るがなければ主の御心が成し遂げられるのではない

人は教会に何を求めているのでしょうか。教会はこれからのどのような人たちに手を差し伸べることができるのでしょうか。

セシリア 松原 恵美子

私はプール学院中高で聖書の科の教員をしています。生徒を取り巻く状況は刻々と変化しています。取り上げるべき問題も変化しています。たとえば、今頭を悩ましている問題の1つは道徳の教科化。何が問題か、キリスト教学校での教育の考え方と微妙にずれているからです。国を愛する

心で養うことに問題はないかもしれませんが、道徳の教科書では、個人よりも国や家族を尊重することに重きがおかれています。たとえば、現在の家族は多様化しています。しかし、家族のありかたを決めつけると、シングルマザー・ファザーはそこからみ出ます。また、昨年、渋谷区、世田谷区ではパートナーシップ制度の条例や要綱がつけられ話題になりました。しかし、型にはまった家族制度のあり方は、パートナーシップ制度のもとで家族となった同性婚のカップルを否定します。表には見えにく

いですが、ジェンダーフリーをも否定することになります。道徳教育で型にはめられると、様々なことにおいて多様性に順応できなくなります。将来の教会を担っていく世代がそのようになつたら、教会に何かを求めて来る人たちに手を差し伸べることが難しくなり、教会は危機に直面します。震災や台風による災害などの被害にあわれた方に心を寄せ、支援をすることはできるかもしれない、でも、キリスト者が応答するのはそれだけではありません。

教会が多様な人たちの居場所であること、みなと共に生きることが出来る場所であること。そのためにはどのような宣教が必要なのか。豊かな想像力をもって、イエスが「善いサマリア人」で語られた「行って同じようにしなさい。」を実践していかなければいけません。先日第62回(定期)総会において、代議員55人中、女性は聖職2人、信徒5人の7人でした。この数字からも課題が見えてくる気がします。(まつばら えみこ・堺聖テ モテ教会信徒)

国を愛する心で養うことに問題はないかもしれませんが、道徳の教科書では、個人よりも国や家族を尊重することに重きがおかれています。たとえば、現在の家族は多様化しています。しかし、家族のありかたを決めつけると、シングルマザー・ファザーはそこからみ出ます。また、昨年、渋谷区、世田谷区ではパートナーシップ制度の条例や要綱がつけられ話題になりました。しかし、型にはまった家族制度のあり方は、パートナーシップ制度のもとで家族となった同性婚のカップルを否定します。表には見えにく

管区・正義と平和委員会 ジェンダープロジェクト

ジェンダー問題を学ぶ

「多様な性・多様な愛」をテーマに

京都教区 司祭 セシリア 大岡左代子

4月23日(土) 13時30分から、大阪聖パウロ教会において、管区・正義と平和委員会 ジェンダープロジェクト、管区女性デスクの主催で性的少数者について理解を深めるための学習会が開催されました。2009年8月に行ってきた。以来7年ぶりとなった今回は「レズビアン」という生き方「多様な性・多様な愛」と題した学習会でした。講師は「信仰とセクシュアリティを考えるキリスト者の会」代表・日本基督教団牧師の堀江有里さん。



堀江さんは、講演の中で自らがレズビアンとして生きることを選択したことによる経験を語られながら、それは「女」としての生き難さと不可分なものであり、背景にはジェンダー構造、異性愛主義、また男性中心モデルの日本型雇用形態などが構造的にあることを指摘されました。またそれらは家族の在り方への根源的な問いを含むと言われ、教会の構造も決して例外ではないことをあらためて認識させられました。また「教会は同性愛を受け入れることができるか」とよく議論されますが、そもそも「同性愛」とは何か、「受け入れることができるか」とはどういう意味か、私たちは根本的に問う必要があると感じました。世界の聖公会は「同性愛」をめぐっては今なお混乱の状況にあり

ますが、「受け入れることができるかできないか」とは誰を基準にした議論なのでしょう。堀江さんは「人々の間に存在する神の国モデル」と

しての教会の在り方、共同体の意味、意義が今こそ問われているのではないかと講演を締めくくられました。まさに私たちの信仰共同体の問題

「君が代」不起立で、なにと闘っているか

大阪府教員奥野泰孝氏 講演を聞いて

ルカ 田中 廉



4月26日(火) 大阪聖パウロ教会で奥野泰孝氏の話聞く会が持たれた。教会外の人を含め18人が参加した。奥野氏は大阪府の支援学校の教員だが、卒業・入学式で「君が代」を起立斉唱しなかったことが地方公務員法に違反するとして減給処分を受け、今裁

判で闘っている。奥野氏はそれまでの経緯と、どうして「起立斉唱」に従わなかったかについて、また「君が代」の歌詞の問題点についても教育者として、また自身のクリスチャンとしての信仰に基づいて話された。この問題の本質は、「国歌・国旗」を強制することが妥当か、反対する人を許容できる度量ある学校や国、個人であるかどうか、だと思

う。私は高校野球では自分の出身県の代表を、学校対抗の競技では自分の出身校を応援するし、外国に行けば日本車を見れば「頑張っているな」と嬉しくなる。これは多分多くの人に共通の郷土愛、愛国心であろう。しかし、愛国心を強要されることは嫌だし、それは間違ったことだと思

委員)

リーダー研修会の報告

様々な「であい」を目指して

聖職候補生 ペテロ 金山 将司

去る5月6日(金)・7日(土)に、京都教区大津聖マリア教会にて京都教区教育部と生涯学習委員会の共催で、リーダー研修会が開かれました。京都での開催ではありませんが、大阪教区からもGグループやキッズ関係者が多く集まり、昨年からのこの日までの京都・大阪教区の青少年活動、キッズフェスティバル、Gグループ、小学生キャンプ、J'sキャンプなどを報告しました。そしてこれから始まる、小学生キャンプ、J'sキャンプなどのキャンプスタッフの募集を行いました。

また昨年同様に、年間テーマが決められ、本年度は「であい」という共通テーマが設定されました。京都教区、大阪教区の2016年度の青少年活動はこの「であい」ということを大きなテーマとして活動してまいります。

両教区が現在青年活動にお

お支え下さるすべての方々とお支えに感謝致します。これからも青少年活動のために皆様のお祈りとお支えをどうぞよろしくお願い致します。(かなやま まさし・大阪聖愛教会勤務)

大阪教区青年会Gグループでは、2016年4月29日(金)

香山 由希

Gグループ



フランチャスコ

は「どっぶり昭和町」というイベントが開催されており、アンデル教会でもチャペルコンサートが行われ、たくさんの人々が訪れていました。そのような中で当日は3人の

青年が集い、ワークを行いました。途中、台湾聖公会より

研修として日本にいられている李鎮丞司祭が来て下さり、作業を手伝って下さる場面もありました。青年同士や教会の方々との交わりの時間を持たたことに改めて感謝申し上げます。次回、7月10日(日)大阪聖ルカ教会にて、敷地の草抜きのお手伝いを行う予定です。1人でも多くの青年の皆さんに参加して頂ければと思います。

このように、神様の元で喜びをもって働くことができる機会が与えられることに感謝いたします。教会の皆さま、これからもどうぞよろしくお願ひ致します。(かやま ゆうき・川口基督教会信徒)

世界の窓

◎米国総教主教、宣教のビジョンを語る
米国聖公会総教主教のミカエル・カレー師父は、プエルトリコで開催された21世紀世界主教制教会宣教活動会(GEMN)で「ジーザス・ムーブメント」を説いた。インタールメリカン大学で行われたこの総会には、20人の宣教師を含む120人以上の参加者が集い、宣教に携わる者同士が学び合い支え合い、そして祈り合うという尊い機会を得ることができた。カレー総教主教は「世界的な共同体という文脈の中で、米国聖公会のために宣教師として奉仕している皆さんとGEMNを神に感謝する。真理は皆さんが何をどのように行っているのかにかかっている。それは一時的にも恒久的にも重要な事柄である」と宣教師たちをねぎらった。米国聖公会で最大の宣教ネットワークを誇るGEMNは、教区、教会、組織、個人に対して、宣教活動を通して世界の人々とつながっていくという志を与える組織である。

また、GEMNは宣教のためのトレーニングと教育、そして宣教に関する情報を提供している。カレー総教主教が提唱する「ジーザス・ムーブメント」は宣教と和解という柱があり、主教制教会がその役割の一部を担っていることを語る。また、総教主教は「聖公会のキリスト者であるということ、主イエスに起源を持つているということであり、我々が『ジーザス・ムーブメント』の中にあり偉大な変革のただ中にあるのだ」と述べている。これは近代のキリスト教文化に形取られたイエスではなく、現在も生きて働かれる偉大な変革者であるナザレのイエスによって和解を与えられ、神のみ旨に近づけられることを意味するという。

(Anglican Communion News Service May 19th, 2016)

◎ブルンジ聖公会とユニセフが協働し貧困と紛争の問題に立ち向かう

アフリカ中部のブルンジ聖公会とユニセフが共同し、貧困救済と平和を保つために小規模融資による農業計画を実施している。このプロジェクト

教区の動き

常置委員会報告

4月11日(第7回定例会)

大阪教区第116 (臨時) 教区会議事録を書記長司祭・千松清美から報告、承認。

I. 主教報告

*日本聖公会第62 (定期) 総会・於日本聖公会センター (6・2・4)

主教・磯 晴久、聖職代議員 司祭・山本眞、司祭・岩城聰、信徒代議員 長野泰信、鈴木光子が出席する。

II. 協議事項

*教区礼拝 10月2日(日) 於プール学院 清心館 式典長 司祭・千松清美 テーマ シャロームと神さまの風につけて 信施先・九州地震被災者のため。

4月20日(第8回臨時)

九州地震支援緊急常置委員会 *大阪教区災害対策室を設置

室長 司祭・原田光雄 担当 司祭・奥村貴充、司祭・古澤秀利

*大阪教区として支援募金額目標を500万円とし、各教会に呼びかける。期間5月7月末まで。

5月9日(第9回定例会)

I. 主教報告

*桃山学院大学国際ワークキャンプ・インドネシア 30周年記念式典(8/24、27、バリエ)に磯主教出席。
*金山将司聖職候補生 執事試験日程6/14(火)と16(木)で実施。

II. 協議事項

*沖縄週間・沖縄の旅(6/24、27)にウイルソン ウォレン司祭を派遣。

教会・施設の動き

尼崎聖ステパノ教会

○5月29日(日) 服部緑地外国人墓地にてミス・コックス記念野外礼拝を行いました。15人出席。

恵我之荘聖マタイ教会

○28年ぶりに、礼拝堂と牧師館の外装工事を致しました。イースター礼拝に間に合わせて頂き、明るくなった外壁のように、清々しい気持ちで礼拝を守ることが出来ました。赤い屋根瓦も映え、十字架はキラキラと光っているようです。小さな教会ですが、何でも話し合い、助け合い、手伝いあって過ごしています。是非一度礼拝にご出席ください。



赤い屋根のきれいな教会に

トは国連からの治安の悪化、差別的暴力の増加と急激な経済的落ち込みが警告されたことから始められたもの。2年前の洪水が農地を洗い流し、農業によって生計を立てていた人々から全てを奪い去り、強烈な貧困を引き起こした。その後、教会が農業用地を提供したため人々は野菜と果物を育て、約100人からなる共同体はそれらを売却して収入源として生き延びることができた。また、小規模融資による救済によって洪水で失われた農地を回復する活動も可能となったのである。しかし、この救済活動は貧困者の救済につながっただけではなく、すさんでしまっていた

平和を再構築する機会を与えたのである。それは、新しい取り組みを通して広範な地域の人々が集まり共に働くことが、異民族同士の交流や諸宗教同士の対話の架け橋となったからである。ブルンジ聖公会は「共に働く喜びが彼らの人生を変化させた」と発表している。ブルンジ聖公会と協働したユニセフは年間レポートを昨週発行し、この働きを継続して子どもたちと女性たちの生活改善に役立てていくことを決断している。
(Anglican Communion News Service; May 23rd, 2016)
司祭 ヤコブ 松平功 (まつだいら いさお、守口復活教会牧師)



祝受洗

○西宮聖ペテロ教会

ソフィア 吉川 紗英 (5月8日)

○高槻聖マリヤ教会

アリエル 植田さおり (5月22日)

○大阪城南キリスト教会

ヨナ 近藤 勉 (2月28日)

○堺聖テモテ教会

アブラハム 住友 厚司
ペテロ 住友 昂志

教区関係教役者

逝去者記念聖餐式

◇ 7月13日 (水) 午前 10 時 30 分

於 主教座聖堂 (川口基督教会)

- 説教者 聖職候補生 ペテロ 金山将司
- 司 祭 ウォルター・J・エドモンズ (1889.7.1 英)
- 伝道師 野村 志津 (1997.7.1)
- 宣教師 エリザベス・メータ・ソフィー・ヒューボルト (1934.7.5 英)
- 伝道師 フィベ 山上 操 (2014.7.9)
- 主 教 パウロ 久保淵 豊彦 (2006.7.12)
- 主 教 アーサー・ウイリアム・プール (1885.7.14 英)
- 宣教師 オクタビア・ジュリアス (1942.7.15 英)
- 宣教師 エミリー・サンドル・フォックス (1942.7.20 英)
- 司 祭 ヨハネ 木川田 正毅 (1990.7.20)
- 司 祭 堀江 議作 (1928.7.21)
- 執 事 永田 保治郎 (1941.7.21)
- 伝道師 中村 貞子 (1953.7.23)
- 宣教師 エセル・アグネス・カーライル (1957.7.23 英)
- 司 祭 西田 弥吉 (1945.7.24)
- 宣教師 ジェーン・アン・スタベリー (1963.7.24 英)
- 司 祭 サムエル 堀江 光児 (1990.7.25)
- 主 教 マルコ 小池 俊男 (2011.7.28)
- 宣教師 ロレッタ・レオナルド・ショウ (1940.7.29 カナダ)

◇ 8月10日 (水) 午前 10 時 30 分

於 主教座聖堂 (川口基督教会)

- 説教者 司祭 ペテロ 松山龍二
- 主 教 エドワード・ビカステス (1897.8.5 英)
- 主 教 ヘンリー・セントジョージ・タッカー (1959.8.8 米)
- 宣教師 アグネス・S・ウイリアムス (1970.8.9 英)
- 司 祭 ヨハネ 桜井 猶次郎 (1945.8.10)
- 主 教 ペテロ 藤本 寿作 (1969.8.10)
- 宣教師 シルビア・ルイス・ケンドール・ブッシュ (1966.8.11 英)
- 司 祭 関 翔 (1953.8.18)
- 宣教師 キャサリン・アリス・サルヴァイン・トリストラム (1948.8.24 英)
- 伝道師 ルツ 中村 光尾 (1978.8.30)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前 10 時 30 分から、主教座聖堂 (川口基督教会) で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

大阪教区「九州地震」被災者支援室

「九州地震」被災者支援
ボランティア募集
登録要旨

大阪教区は、下記のようにボランティアの登録受付を開始します。

- ①大阪教区からボランティアを応募する人は、必ず大阪教区で登録してください (注:登録は大阪教区関係者に限る)。
- ②各教会に配布された「ボランティア登録票」に必要事項を記入し、大阪教区事務所に提出してください (ボランティア登録をする際、その旨、所属教会の牧師または管理牧師に報告してください。登録票の記載内容 (個人情報) は、この支援活動以外に使用されることはありません)。
- ③九州教区「九州地震被災者支援室」から、本人に連絡が届き諸要件を相互に調整した上で活動の期間や内容が決定されます。
- ④この支援ボランティア活動に要する経費は申請する必要があります。交通費に関しては、原則として熊本聖三一教会 (活動拠点) までの往復交通費となります。申請により実費を教区「災害緊急支援資金」から援助します。なお、交通手段やルート等については、事前にお申し出いただき、ご相談ください。また、朝食・夕食、宿泊場所は無料で提供されますが (注:寝袋持参のこと)、昼食・銭湯代は自己負担です。
- ⑤現地に赴く前に必ず、各自、社会福祉協議会のボランティア保険 (1 年間有効) に加入してください (注:保険は自己負担)。
- ⑥往復交通費実費の援助を含め、当教区における被災者支援ボランティア登録に伴う上記諸要件は、当面の措置とします。しばらくの試行の後、再検討します。

魂の平安を
祈ります

○大阪聖愛教会

マルタ

森岡 君子

○大阪聖パウロ教会

サラ

福田 澄子

○芦屋聖マルコ教会

ダビデ

谷元 正敏

○大阪聖ヨハネ教会

ベタニヤのマリヤ

牧口 美世

○大阪聖ヨハネ教会

ベタニヤのマリヤ

五月 27 日・84 歳

お詫びと訂正

教区報第 448 号の掲載記事に以下の誤りがありました。訂正してお詫びします。

10 頁 1 段目 (寄稿者名)

(誤) グレース 内海理沙子

(正) フランシスカ

内海理沙子

次号 (第 450 号) 発行予定

8 月 28 日 (日)